



あだち産野菜を皆で楽しめる「大江戸こまつ鍋」

国産食材のみを活用した「東京郷土料理」を提供する「系の木れすとらん」。区内の野菜を中心にしたメニューが日々提供されている。メニューの「大江戸こまつ鍋」は、都内産農林水産物を使用した料理コンクールで優秀賞を受賞した。

あだち産野菜を使うきっかけは？
東京都主催の料理コンクールに応募するために都で生産されている野菜を調べると、思っていた以上に区内で生産されている品種が多いことが分かりました。野菜は新鮮さが一番ですから、ぜひ近くで作られたものを活用したいと思ったことがきっかけです。

使う野菜の種類は？
ムラメというツマモノ(右下を参照)や、コマツナ、トマトやキュウリ、ダイコンなど、旬の野菜を区内の複数の農家から仕入れています。

料理の感想は？
若い世代の方から、「区内でこんなたくさん野菜が作られていると知り、自分のまちをもっと好きになった」と言ってもらいました。食と共に、情報を発信することの大切さを実感しました。

どのようなメニューがありますか？
人気があるのは、シャモの塩焼きと手作り味噌を生のコマツナの葉に包んで食べる料理です。採りたて

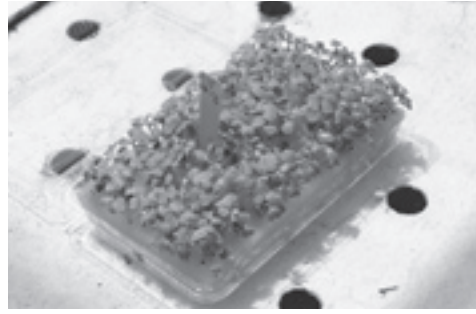
インタビュー

農業の改革者

郷土料理の提唱者

地元に着した農業を営む「アライ園芸」、区内の野菜を積極的に取り入れている「系の木れすとらん」に、それぞれの思いを聞いた。

問い合わせ先「農業係 (3880) 5866



バック詰めされた家庭栽培用の苗床

アライ園芸は、区内では珍しい水耕栽培により野菜を育てている農家だ。区内の幼稚園や小・中学校で農業体験学習の講師を務めるなど、次世代へ農業をつなぐ活動も行っている。

水耕栽培のメリットとは？
一番のメリットは、狭い土地でも、収穫量を増やせることです。施設の中で、天候に左右されずに栽培ができ、無菌の養液で育てるので農薬も減りました。

地域とのかかわりは？
区の小・中学校の給食用にコマツナを卸しています。また、子どもたち向けに収穫体験教室も開きました。野菜をあまり食べないお子さんが、採りたての野菜を口にして、

区内で農業を続ける意味とは？
消費地に近く、収穫したての栄養価の高い野菜を届けられることです。近くの人々が「安心して食べられておいしかった」と言ってくれます。がんばってその声に応えてい

アライ園芸代表 新井宏治さん
めざすのは、新しい農業のカタチ

8月の区内の主な直売所

表1 直売所一覧

直売・販売所	所在地	営業日時等
大熊農園直売所	舎人5-17(ライフストア舎人店駐車場隣)	午後3時30分開始 日曜日休み
寛谷農園直売所	栗原4-17(ヨークマート栗原店前)	月・水・金曜日 午後2時~6時
牛込農園直売所	東保木間2-8(ライフストア竹の塚東店駐車場裏)	火・木・土曜日 正午開始
	島根1-11-8(自宅前庭先)	火・木・土曜日 午前9時開始
ふぁーむとみざわ	谷中3-17(谷中中学校北側)	水・日曜日 時間不定期
小宮農園直売所	鹿浜6-25(自宅前)	午前9時30分開始 雨天休業
斉藤農園直売所	入谷1-7(自宅前)	月・水・金曜日 午前7時開始
金井庭先販売所	入谷1-27(自宅前)	不定期 8月中旬まで
かど内田直売所	興野2-13-19(自宅前)	不定期
JA足立支店	中央本町1-4-3	27日 午前10時開始 毎月26日。土・日曜日の場合は翌月曜日
JA皿沼支店	皿沼1-1-2	27日 午前10時開始 偶数月の26日。土・日曜日の場合は翌月曜日
JA営農センター	六町2-8-10	第2・第3火曜日 午前10時開始 毎月開催

販売物は直売所によって異なります。日時等は変更になる場合があります。8月以降の直売所など、くわしくは区のホームページをご覧になるか、お問い合わせください。ホームページアドレス: http://www.city.adachi.tokyo.jp/

ミニコラム あだちの農産物いろいろ

区の特産品のなかから、特徴のある農作物を紹介。

ツマモノ

料理のツマとして風味付けや季節感、料理の高級感を演出する香味野菜のこと。アサツキ、ムラメ、アユタデなど、貴重な江戸東京野菜としてブランド化が図られている。

ツマモノは料理を彩る食材です



花き(切り花・花苗など)

区の花栽培は、農家が稲作の合間にキクなどの花を栽培して、江戸の町へ行商したことが始まりと言われている。

キクの少ない初夏に、中輪の花を付ける夏ギクやハボタンなどの栽培を中心として、市場で高い評価を得ている。



夏ギクは都内生産量第1位

加平住区センターの工事に伴う休館

期間=8月26日~25年2月 悠々館の教室などは他施設を利用して一部実施。学童保育室は仮設建物にて通常通り開室。くわしくはお問い合わせください。問い合わせ先=加平住区センター 3605-8842

FAX
✉



25az
FAX

✉

◆

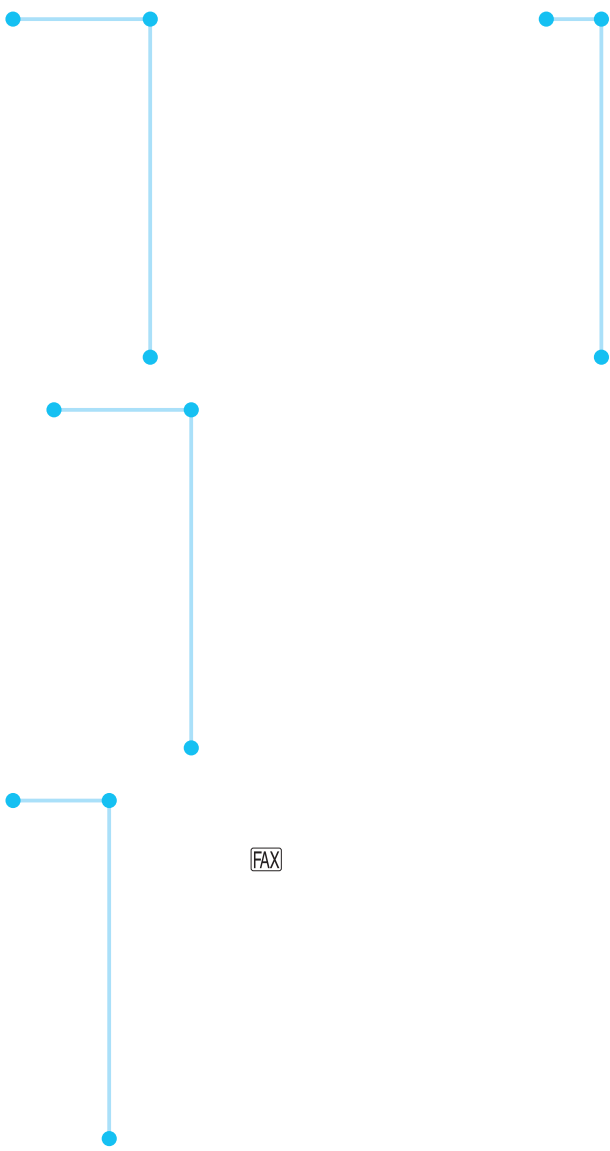
◆



<http://www.city.adachi.tokyo.jp/>



上記マークがある申し込みは、面右上の記入例参照



FAX

